

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	あそぼ（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和7年12月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数で、小学生のみの利用	1日の利用が最高5人で、それぞれの特性やニーズに合わせて個別に活動できる場を設けている	少人数だからこそ、子ども同士の関わりの場面の設定、良いことへの声掛けなどをより丁寧に行う
2	子どもの発達状況や保護者のニーズに合わせての対応	子どもや保護者・家族の状況に合わせ、保護者と話をしたことを療育に取り込むようにしている	職員の一貫した関わりができるよう情報や療育方法の共有を丁寧にする
3	見通しを持ちやすい環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々に合わせたスケジュール表</li> <li>活動ごとにエリアを分ける</li> <li>パーテーションなどの活用</li> </ul>	あそびや活動の幅が広がるよう遊びの提案なども指示書などを活用する。またトークンなども取り入れる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門機関やスーパーバイザーからの日常的な助言・指導	庄原市にセンターがなく、日常的に相談したり助言をもらえるところがない	療育部会や市・県北全体の障害福祉について、みんなで考えていけるようにしていく
2	個別活動の療育プログラム	利用時間の短さもあり、個を意識した活動があまりできていない	生活の中での関わりの部分に個を意識した関わりをしていく
3	小学校や児童クラブ等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学前に比べ利用児の関係機関との連携が減る</li> <li>個々の差も大きい</li> </ul>	連携を学校・保護者のニーズだけでなく、事業所からも積極的にその機会を設けていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あそぼ（放課後等デイサービス）
------	-----------------

公表日 令和8年2月2日

利用児童数 令和7年12月1日

回収数 10

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9				1	建物の状況が古民家でバリアフリーにはなっていないが、できるだけの対応を引き続き行っていく
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9			1	支援プログラムそのものについて分からない	・4月のお便りや利用を始める時に印刷したものを配布する ・玄関にも提示する
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	10					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	10					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9				1	モニタリング、面談の機会やお便りなどを使って、工夫について具体的に伝えていくようにする
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3		2		保護者のニーズを把握し、個々の思いに沿った取り組みに向け努力する
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	10					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9				1	あそぼカフェの周知や年に数回の研修、またペアトレの紹介を積極的に行う
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	10					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	1		2		きょうだい児については面談等で個々に相談には応じているが、今後必要であれば保護者家族同士をつなげていきたい
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	1		1		マニュアルは準備し、閲覧可能になっており、そのことについて周知していく
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7			3		お便りで訓練についての報告を簡単にしているが面談等でも話をしていく
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		マニュアルは準備し、閲覧可能になっており、そのことについて周知していく
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	1				モニタリング等の面談時に活動の動画を準備し見てもらうようにする
	29	事業所の支援に満足していますか。	10					母子ともに大好きです。今後ともよろしくお願いします

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
あそぼ（放課後等デイサービス）		令和8年2月2日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2		イヤーマフやカムダウンのコーナーも準備してある	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		3つのエリアに分け、活動に応じてエリアを分けてある	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2		日々、職員間で話ができる状況がある	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			把握し努力はしているが、改善に直結しない場合がある
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			勤務状況によってはすぐにできない場合がある
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	研修等にて指導を受ける機会がある	その機会が少ない
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2			研修機会をもっととってほしい
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2			公表されているか十分周知できていない
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		計画案について関わる職員で確認し合うようにしている	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		2		計画作成や面談等の時にはアセスメント内容を確認しているが、日々の中ではできていないことがある
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		2		地域支援、移行支援が十分でないところがある
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		長期休暇等は子ども達にいろいろな体験ができるよう工夫している	日頃は下校後で利用時間が短いため、同じような流れになりがちである

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		終了後に時間をとるのが難しいため、次の日の療育についての話の前に行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2		記録を見ることで代替職員も様子がわかる	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	2			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2		活動の中で選択の場面を設定するなどしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2		必要に応じて相談支援や他事業所との担当会議をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			小学校との連携は不十分と思われる
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2			まだ該当事例なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2		県発達支援センターの助言の機会や利用者の関わりのある心理士のアドバイスをもらう機会がある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2			療育部会がなく、地域全体で考えていく必要がある
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2		自由に参加できる「あそぼカフェ」を月1回実施している	保護者に向けた研修会の機会があまりもてていない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			支援プログラムの周知が不十分
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2		モニタリングの機会その他、相談支援とも連携し、家族の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		2		きょうだい支援の機会はなく、個々に相談にのっている状況である
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	2		月1回お便りを発行している	SNS等での発信が少ない
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		マニュアルの他、年度初めに誓約書へのサインを行っている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			マニュアルは閲覧可能にしているが周知が不十分
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			安全訓練は行っているが実際に避難を試みることは不十分
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		2		該当児なし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		研修に参加した者が全体への報告を行うなど、重ねて学べる機会をもっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2				